



ぐんま元気（GENKI）な食環境づくりプロジェクト

参画のためのガイド

【2026.8.12版】

群馬県 健康福祉部 健康長寿社会づくり推進課

受託事業者 株式会社NTTデータ経営研究所

目次

1. プロジェクトの理念

2. プロジェクトの概要

1. 理念目的・取組方針
2. 取組の背景
3. 目指す姿

3. 活動内容

1. 活動内容
2. 参画メリット

4. アクションプランの設定

1. 参画の原則
2. 参画の流れ・アクション
3. 登録項目
4. 参画後の取組展開イメージ
5. アクション設定例

5. 提出方法・問合せ先

プロジェクトの理念

ぐんま元気（GENKI）な 食環境づくりプロジェクト

暮らし**ら**しているだけで**健康**になれる社会を、**食**でつくる。

群馬県民の幸福度向上には健康が重要であり、「食」は命を支える源です。

「食」は生産・加工・流通・販売など

県民の手に届くまでに多くの関係者により支えられています。

そこで、本プロジェクトでは、「食」を支える関係者を含めた産官学等が連携して
県民が「食」をおいしく、楽しみ、暮らし**ら**しているだけで健康になれる群馬県を目指します。

目的・実施概要

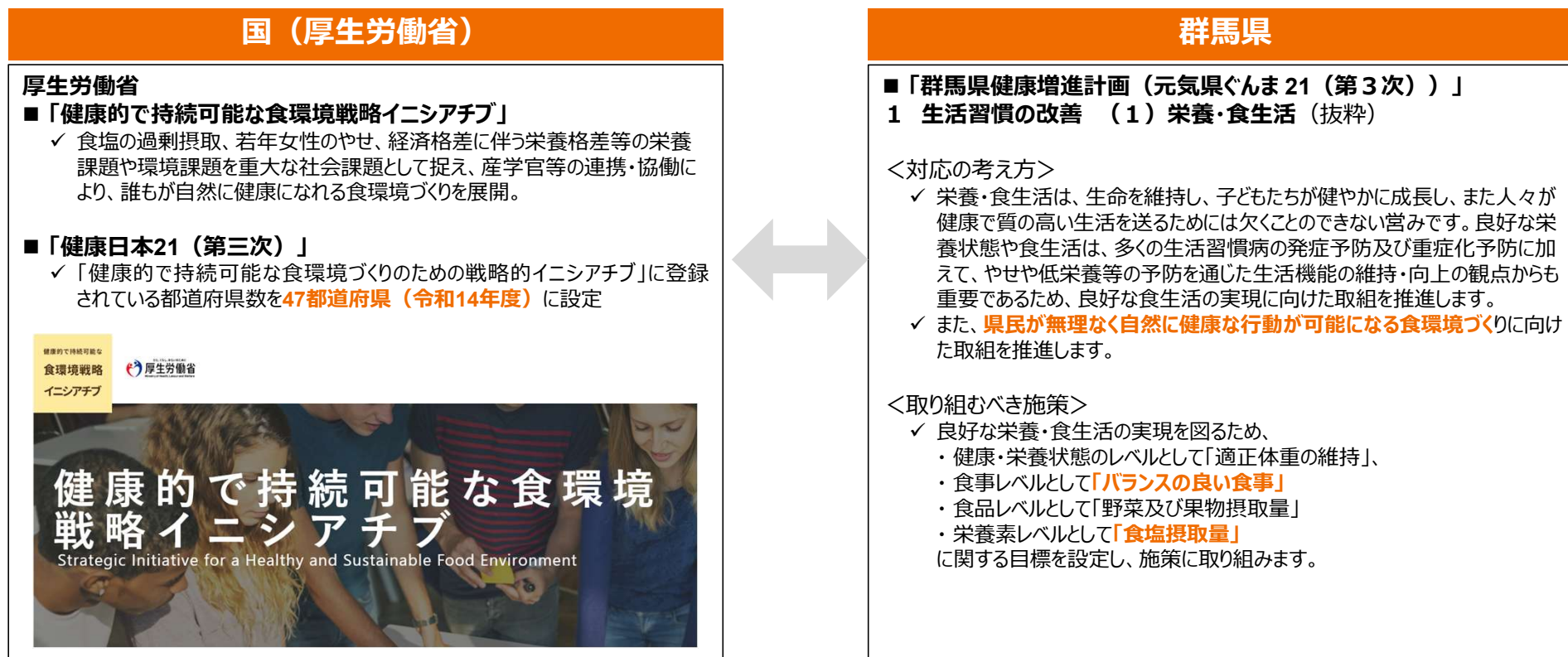
群馬県では、県民が健康的な食生活やその実践に向けた食品や情報が入手しやすい環境を県全体で実現するため、産学官連携プラットフォーム「ぐんま元気（GENKI）な食環境づくりプロジェクト」を設立しました。



重点テーマ：おいしい減塩（食塩摂取量の減少） / バランスのいい食事

取組の背景 (1) 政策的動向

国の健康的な食環境づくりの取組とも連動して、群馬県でも産学官の連携により誰もが自然に健康になれる環境整備に取り組むことが求められています。



出所：健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブWebサイト、健康日本21（第3次）、群馬県健康増進計画（元気県ぐんま 21（第3次））

2. プロジェクトの概要

取組の背景 (2) 群馬県の栄養課題

群馬県の重要な栄養課題は、食塩摂取量の減少と栄養バランスの取れた食事の定着です。

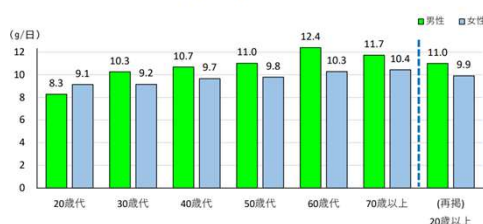
食塩摂取量の減少

- 食塩の過剰摂取は生活習慣病において大きな影響があり、また胃がんや循環器疾患等のリスク要因とされています。こうしたことから、食習慣改善に向けた減塩の取組や、事業所や給食施設など多様な主体を巻き込んだ食環境づくりを進める必要があります。

1日当たり食塩平均摂取量の年次推移



年代別の1日当たり食塩平均摂取量 (2022(令和4)年)



食塩摂取量の平均値

現状値
10.5g
(2022年)

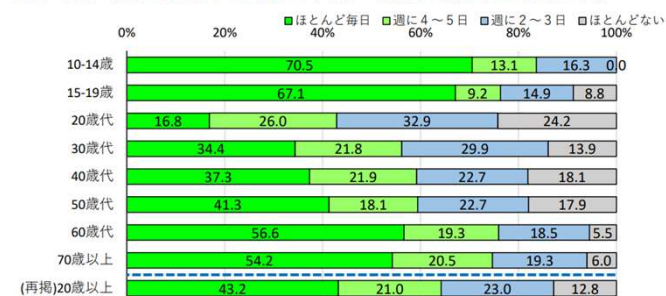
目標値
7g
(2032年)

全国平均 9.6g
全国順位
男性: 35位
女性: 41位

栄養バランスの取れた食事

- 食塩の過剰摂取は生活習慣病において大きな影響があり、また胃がんや循環器疾患等のリスク要因とされています。こうしたことから、食習慣改善に向けた減塩の取組や、事業所や給食施設など多様な主体を巻き込んだ食環境づくりを進める必要があります。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする者の年代別の割合 (2021(令和3)年)



主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が
1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合

現状値
43.2%
(2022年)

目標値
50%
(2032年)

全国平均 52.8%

目指す姿



3. 活動内容

活動内容

本プロジェクトでは、事業推進に係る助言や、参画事業者や関係者との連携機会の創出、県民への情報発信、学術関係者等との情報交換機会の創出等を行います。

活動内容（予定）一覧

戦略会議の実施 (2~3回/年)	「ぐんま元気な食環境づくりプロジェクト」の取組をより協力を推進するために設置します。 - プロジェクトの取組内容の協議や、進捗確認等を行います。
参画事業者・関係者との連携	「参画事業者同士の交流の場や、産学官等連携のイベント」などを開催し、関係者同士の連携機会を創出します。
県民への情報発信	- 県民への栄養課題に関する啓発イベントを実施します。 - 県のホームページ等を通じた情報発信を行います。 - 県民への啓発に活用できる資材等を作成・配布します。
学術関係者等との交流会・勉強会	事業に関する新しい情報や専門知識等について知れる勉強会等や、専門家との意見交換会等を実施します。

参画事業者・関係者との連携	「参画事業者同士の交流の場や、産学官等連携のイベント」などを開催し、関係者同士の連携機会を創出します。
県民への情報発信	- 県民への栄養課題に関する啓発イベントを実施します。 - 県のホームページ等を通じた情報発信を行います。 - 県民への啓発に活用できる資材等を作成・配布します。
学術関係者等との交流会・勉強会	事業に関する新しい情報や専門知識等について知れる勉強会等や、専門家との意見交換会等を実施します。

参画メリット

参画いただくことで、事業者同士の連携機会の獲得や企業イメージの向上、県民への情報発信機会の増加、事業実施に係る助言の獲得や、最新情報・先進事例の入手につながります。

参画メリット



事業者同士の連携促進

- ・ 参画事業者交流の場への参加
- ・ 事業者からの希望に応じ、コラボレーション機会の獲得
- ・ 学術機関や県内の市町・保健所等との連携機会の獲得



企業イメージの向上

- ・ プロジェクト参画の標榜
- ・ 県が作成した啓発資材等の活用



県民への情報発信機会の増加

- ・ 県主催イベント等でブース出展機会の獲得
- ・ 県のホームページなどの広報機会の獲得



事業実施に係る助言

- ・ アクション設定や参画に関する助言を受ける機会の獲得
- ・ 減塩や栄養バランスの取れた食事の効果的な展開に関する情報提供



最新情報・先進事例の入手

- ・ 県主催セミナー等への参加
- ・ 学術機関や関連団体との連携機会の獲得

参画の原則

本プロジェクトに参画するに当たっては、アクションの提出と公表の同意が必要です。

参画の原則

- (1) 県が推進する誰もが自然に健康になれる食環境づくりの取組に賛同すること
- (2) 群馬県の主な健康課題に対し、アクションを設定すること
＜群馬県の健康課題＞
 - ・食塩摂取量の減少
 - ・バランスのいい食事の定着
- (3) アクションは、ウォッシュ※にならないものとする。
※「ウォッシュ」とは、消費者等への訴求効果を狙い、表面的な取組、見せかけの取組を行うことをいう。
- (4) アクション設定後、毎年、取組の進捗状況の確認に応じ、アクションプランで設定した実施期間の最終年度には取組結果を報告すること
- (5) 選択したアクション、取組内容及び進捗状況が原則公表されることに同意すること
- (6) 本プロジェクトの取組推進を阻害しないこと
- (7) 反社会的組織・活動に関わりがないこと

参画の流れ・アクション

参画の際には、取り組むアクションを決定のうえ、申込フォームより申請を行います。
事業者ヒアリングを実施したうえで参画事業者として登録・Webサイトへの掲載を進めます。

参画の流れ

アクション

1 「参画のためのガイド」を読みアクションを作成

- 「参画のためのガイド」でアクションや参画要件を確認し、取り組むアクションを作成

2 参画申請書へ記入

- 群馬県Webサイトに設置した参画申請書から事業者情報やアクションを入力

3 申し込み後、事務局にて内容確認

- 事務局より申請内容を確認
※申請内容について詳しく状況を伺う場合があります

4 Webサイトへの事業者名等の掲載

- 群馬県Webサイトへ事業者名等の情報を掲載



へらしお
アクション

対象の栄養課題

食塩摂取量の
減少

取組内容

- 減塩に配慮した商品の開発・販売や、食塩配慮商品の棚割りづくり、適切な情報発信など、食塩摂取量の減少につながるアクションを設定いただく。



へらしお &
バランスごはん
アクション

食塩摂取量の
減少

栄養バランスの
取れた食事

- 栄養バランスに配慮した商品やメニューの提供、適切な栄養情報の発信等、栄養バランスの取れた食事の推進につながるアクションを設定いただく。

4. アクションプランの設定

登録項目

申込時には、事業者の基本情報に加え、5つの必須項目及び3つの任意項目を設定します。
取組内容のWeb公開可否は選択制です。

登録項目

項目		回答内容	
1	必須	参加を希望されるアクションを1つ選択ください。	☐ へらしおアクション ☐ へらしお&バランスごはんアクション
2	必須	実施予定の取組内容にあてはまるものを選択ください。 (複数選択可)	<食品への取組> ☐ 商品の減塩・栄養バランス改善 ☐ 健康に配慮した商品の取扱い拡大 ☐ 健康商品の販売促進・売場づくり <情報発信の取組> ☐ 減塩・栄養バランス改善に関する情報発信 ☐ 商品・レシピ等の情報発信 ☐ 自社の健康づくりに関する取組紹介 ☐ その他()
3	必須	取組概要について、内容をご記載ください。	
4	必須	実施期間を教えてください。	開始日： 年 月 ～ 終了日： 年 月
5	必須	取組概要のWeb公開可否について、あてはまるものを選択ください。	☐ 公開可 ☐ 公開不可
6	任意	取組における評価指標（KPI）があれば教えてください。	
7	任意	上記の現状値を教えてください。	
8	任意	上記の目標値を教えてください。	

1・2：該当するものをチェックします。

3：栄養課題解決につながる、具体的なアクションを記入してください。

4：アクションに取り組む期間を記入してください。

5：希望するものをチェックします。

6 7 8：アクションの達成状況を把握するための評価指標、現状値、目標値を記入してください。
(任意項目)

4. アクションプランの設定

登録項目

申込時には、事業者の基本情報に加え、5つの必須項目及び3つの任意項目を設定します。
取組内容のWeb公開可否は選択制です。

登録項目（記入例）

項目		回答内容
1	必須	参加を希望されるアクションを1つ選択ください。 ☐ へらしおアクション ☒ へらしお&バランスごはんアクション
2	必須	実施予定の取組内容にあてはまるものを選択ください。（複数選択可） <食品への取組> ☒ 商品の減塩・栄養バランス改善 ☐ 健康に配慮した商品の取扱い拡大 ☐ 健康商品の販売促進・売場づくり <情報発信の取組> ☒ 減塩・栄養バランス改善に関する情報発信 ☐ 商品・レシピ等の情報発信 ☐ 自社の健康づくりに関する取組紹介 ☐ その他（ ）
3	必須	取組概要について、内容をご記載ください。 <食塩相当量の減少> 従来商品より食塩相当量を減らした商品を開発し、市場定着を図る。 <栄養バランスの取れた食事> 自社のWebサイトで栄養バランスの取れた食事方法に関する記事を作成する。
4	必須	実施期間を教えてください。 開始日： 2026年 7月 ~ 終了日： 2031年 3月
5	必須	取組概要のWeb公開可否について、あてはまるものを選択ください。 ☒ 公開可 ☐ 公開不可
6	任意	取組における評価指標（KPI）があれば教えてください。 <食塩相当量の減少> 新規商品数に占める減塩に配慮した商品数の割合（%） <栄養バランスの取れた食事> 公開した記事本数（本/年）
7	任意	上記の現状値を教えてください。 <食塩相当量の減少> 10% <栄養バランスの取れた食事> 0本/年
8	任意	上記の目標値を教えてください。 <食塩相当量の減少> 20% <栄養バランスの取れた食事> 5本/年

「へらしお&バランスごはんアクション」を選択された場合、栄養課題ごとにアクションをご記入ください。

「へらしお&バランスごはんアクション」を選択された場合、栄養課題ごとに評価指標、現状値、目標値をご記入ください。

アクション設定例

へらしおアクションの場合、食塩摂取量の減少をテーマとしたアクションを設定いただきます。

アクションの設定例

			テーマ	取組例
 へらしお アクション	食塩摂取量 の減少	食品	商品の減塩	・ 全製造商品/メニューの食塩相当量を減らす。／全商品における減塩配慮商品の出荷数割合を増やす。
			商品の取扱い拡大	・ 減塩弁当/メニューの販売数を増加する。／減塩配慮商品を販売する店舗数を増やす。
			販売戦略の工夫	・ 「減塩POP」を使った売り場づくりを行う。／店舗で減塩イベントを開催する。
			その他	(事業者にて独自に設定)
		情報発信	減塩の啓発	・ 県主催の啓発イベントへ年1回参加する。／自社SNSにて減塩啓発の投稿を行う。
			商品・レシピの啓発	・ 減塩レシピを作成し、自社Webサイトに掲載する。／店舗で減塩レシピを設置・配布する。
			事業者の取組紹介	・ 自社媒体にて、減塩の取組の紹介記事を掲載する。／自社の減塩の取組紹介動画を作成する。
			その他	(事業者にて独自に設定)

4. アクションプランの設定

アクション設定例

へらしお&バランスごはんアクションの場合、食塩摂取量の減少および栄養バランスの取れた食事をテーマとしたアクションを設定いただきます。

アクションの設定例

			テーマ	取組例
 へらしお & バランスごはん アクション	食塩摂取量 の減少	食品	商品の減塩	・ 全製造商品/メニューの食塩相当量を減らす。／全商品における減塩配慮商品の出荷数割合を増やす。
			商品の取扱い拡大	・ 減塩弁当/メニューの販売数を増加する。／減塩配慮商品を販売する店舗数を増やす。
			販売戦略の工夫	・ 「減塩POP」を使った売り場づくりを行う。／店舗で減塩イベントを開催する。
			その他	(事業者にて独自に設定)
		情報発信	減塩の啓発	・ 県主催の減塩啓発イベントへ年1回参加する。／自社SNSにて減塩啓発の投稿を行う。
			商品・レシピの啓発	・ 減塩レシピを作成し、自社Webサイトに掲載する。／店舗で減塩レシピを設置・配布する。
			事業者の取組紹介	・ 自社媒体にて、減塩の取組の紹介記事を掲載する。／自社の減塩の取組紹介動画を作成する。
			その他	(事業者にて独自に設定)
	栄養バランス の取れた食事	食品	商品の栄養バランス改善	・ 栄養バランスに配慮した商品を開発する。／全商品における栄養バランス配慮商品の出荷数割合を増やす。
			商品の取扱い拡大	・ 栄養バランスに配慮した弁当/メニューの販売数を増やす。／栄養バランス配慮商品を扱う店舗数を増やす。
			販売戦略の工夫	・ 「栄養バランスPOP」を使った売り場づくりを行う。／店舗で栄養バランスの啓発イベントを開催する。
			その他	(事業者にて独自に設定)
		情報発信	減塩の啓発	・ 県主催の啓発イベントへ年1回参加する。／自社SNSにて栄養バランス啓発の投稿を行う。
			商品・レシピの啓発	・ 栄養バランスに配慮したレシピを作成し、自社Webサイトに掲載する。／店舗でレシピを設置・配布する。
			事業者の取組紹介	・ 自社媒体にて、栄養バランス改善の取組の紹介記事を掲載する。／取組紹介動画を作成する。
			その他	(事業者にて独自に設定)

4. アクションプランの設定

参画後の取組展開イメージ

参画当初は取り組みやすいアクションから実施いただき、徐々に取組を展開していただくことができます。

参画後の発展イメージ

※「へらしおアクション」の場合

パターン① 減塩に関する取組を 既に行っている	取組の明確化・ 既存資源を活かした取組	関連団体等との連携	取組の拡大
	- 自社の取組の整理・実施するアクションを具体化する - 既存の食塩配慮商品の表示・売り方を工夫する（減塩POPを付ける等） - HP・SNS・アプリ・情報誌等で情報発信を行う	- 県主催の減塩イベントで食塩配慮商品を紹介する - 参画事業者や県内の市町村、関連団体と連携する	- 食塩配慮商品数を拡大する - 食塩配慮商品の販売数、販売チャネルを拡大する
パターン② 減塩に関する取組を これまでに行っていない （または過去に行っていたが 現在は行っていない）	情報発信		食品への取組
	県のリソースを使った発信	各社の特性を活かした発信	
	- 県の啓発資材（ポスター等）を使った情報発信を行う - 県主催の減塩イベントへ参加する	- HP・SNS・アプリ・情報誌等で情報発信を行う - 自社の食塩配慮商品を使ったレシピを開発する	
	- 製造商品の食塩量を減らす - 食塩配慮商品を新たに開発する - 食塩配慮商品の取扱いを増やす - 既存メニューの食塩量を減らす - 減塩メニューを開発・提供する		

消費者へのインパクト 中

取組の進捗に応じて、アクションの修正を行っていただくことが可能です。

大

提出方法・問合せ先

以下の方法により、参画申請書をご提出ください。
参画やアクション設定に関するご相談も受け付けております。

提出方法

以下の提出先宛にメールにてご提出をお願いします。

【提出物】

- ・ ぐんま元気（GENKI）な食環境づくりプロジェクト 参画申請書

提出先・問合せ先

令和8年度 ぐんま元気な食環境づくりプロジェクト推進体制支援業務委託事業 受託事業者
株式会社NTTデータ経営研究所 地域トランスフォーメーションユニット
e-mail : gunma_foodenvironment@nttdata-strategy.com
受付時間：平日10:00～17:00

ぐんま元気（GENKI）な食環境づくりプロジェクト ポータルサイト
<https://www.pref.gunma.jp/site/shokupuro/>